

スポーツクライミング競技規則 一部改定 (2024年12月12日付) 主要変更点

ボルダー種目

- ・ 決勝ラウンド定員、進行方法
- ・ 順位決定方法

2024/12/12

公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会

スポーツクライミング部技術委員会

主要変更点 概要

(1) 決勝ラウンドの進行方法

ボルダー&リード種目（パリ2024大会実施種目）の
決勝ボルダーステージと同様に、複数選手の競技を同時に実施

(2) 順位決定方法

ボルダー&リード種目のボルダーステージにおけるポイント制を導入

上記はすべて国際スポーツクライミング連盟(IFSC)の規則変更方針に基づいた規則改定

規則改定の背景

(IFSC発出NF向け説明資料より)

オリンピック関係者からのスポーツクライミング3種目に関するフィードバックの中で、近年常にボルダー種目が改善すべき種目として取り上げられている。

★改善ポイント★ 観客にとってより分かりやすく、より魅力的な種目とすべき

2022年 ボルダー種目の改善に向けた分析や議論を開始

2024年 2025年からのボルダー種目を検討するワーキンググループを設置

ワーキンググループによる検討結果：

ボルダー&リード種目（B&L種目）におけるボルダーステージのコンセプトを、
ボルダー種目にも適用する。

- ・ボルダー決勝は8名の選手で実施、進行はB&L種目決勝と同様
- ・ゾーンは各ボルダーで1つ
- ・完登は25ポイント、ゾーンは10ポイント
- ・ポイント獲得までにフォールした回数に0.1をかけた数値を、ポイントから引く

2024年12月5日 IFSC執行役員会にて規則改定を承認

決勝ラウンド定員・進行方法

★定員：6名→8名に増員

- ・より多くの選手がパフォーマンスできる機会を提供
- ・国際大会においてはより多くのNFが決勝に進出できる可能性

★進行方法（右表）

B&L種目の決勝ボルダーステージと同様、部分的に2名の選手が同時に競技を行う進行方法に変更

- ・選手がレストしている間も、違うボルダーで競技が行われるため、常に選手のパフォーマンスを見ることができる。
- ・勝敗を決する可能性が高い最終ボルダーの最後の4名は単独での競技となるため、フォーカスしやすい。

ローテーション	B1	B2	B3	B4
1	選手1			
2	選手2			
3	選手3			
4	選手4			
5	選手5	選手1		
6	選手6	選手2		
7	選手7	選手3		
8	選手8	選手4		
9		選手5	選手1	
10		選手6	選手2	
11		選手7	選手3	
12		選手8	選手4	
13			選手5	選手1
14			選手6	選手2
15			選手7	選手3
16			選手8	選手4
17				選手5
18				選手6
19				選手7
20				選手8

順位決定方法

①各ボルダーにおける選手のパフォーマンスに基づき、ポイントを算出

例：

選手A	ゾーンを1アテンプト目で獲得	10ポイント
選手B	ゾーンを5アテンプト目で獲得 (ゾーン獲得までに4回フォール)	9.6ポイント
選手C	ゾーンを1アテンプト目で獲得後、そのまま完登	25ポイント
選手D	ゾーンを3アテンプト目で獲得 8アテンプト目で完登 (完登までに7回フォール)	24.3ポイント

②各ラウンドのすべてのボルダー（予選：5ボルダー、準決勝/決勝：4ボルダー）でのポイントを合算する。

③合算したポイントを比較し、ポイントがより多い選手が上位になる。

順位決定方法

リザルトにおける表示例：

Rank	Bib Number	Name	NOC Code	Boulder				Awarded Points
				1	2	3	4	
1	1	ANRAKU Sorato	JPN	24.9	25.0	9.5	9.6	69.0
2	4	NARASAKI Tomoa	JPN	9.8	10.0	9.8	24.8	54.4
3	2	ROBERTS Toby	GBR	9.8	9.7	9.9	24.7	54.1
4	9	AVEZOU Sam	FRA	10.0	10.0	4.8	24.4	49.2
5	8	ONDRA Adam	CZE	9.6	9.6	4.7	24.8	48.7
6	3	SCHUBERT Jakob	AUT	24.9	9.9	5.0	4.9	44.7
7	15	Van DUYSEN Hannes	BEL	10.0	9.8	4.8	9.7	34.3
8	18	McARTHUR Hamish	GBR	9.9	10.0	9.3	5.0	34.2

JMSCA主催大会における適用

2024年12月12日 理事会にて競技規則の一部改定承認

2025年2月1日～2月2日 ボルダージャパンカップ2025より適用

JMSCA